

学校教育目標	令和4～6年度「育てたい子どもの姿」～豊かにかかわり、じっくり考える☆(キラッと輝く)豊田っ子～ 【知】 自ら問題を発見し、自分で考える力をもって、学び合い、伝え合う子を育てます 【徳】 人や自然と豊かにかかわり合いながら、自分や友達を大切に、心を通い合わせる子を育てます 【体】 運動に親しみ、自ら健やかな心と体をつくり、生涯にわたってたくましく生きる子を育てます 【公】 礼儀や感謝の気持ちを重んじ、他者と協働して、よりよい社会を創造しようとする子を育てます 【開】 自分を見つめ、グローバルな視野をもち、新たな価値を生み出すことができる子を育てます				
	131 周年	学校長 垣崎 授二	副校長 生田 豪	2 学期制	一般学級：15 個別支援学級：3
学校概要	児童生徒数： 438 人 主な関係校： 豊田中学校 ・ 飯島中学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	豊田中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
〈問題発見・解決能力〉 〈自分づくりに関する力〉	豊田中学校 豊田小学校 倉田小学校	○自ら考え、自ら学び、人やもの・地域と豊かにかかわり合いながら共に輝く児童・生徒の育成  ・小中合同研究会の活性化を通して、小中一貫カリキュラムの推進を目指す。 ・全職員が参加する小中の授業参観を通して、教育課題を見直し、円滑な接続を目指す。 ・中一ギャップ解消に向けて、子どもに関わる情報交換を推進する。 ・土曜参観日に豊田中学校の吹奏楽部を招待し、全校で演奏を聴くことで交流を深める。

中期取組目標	○チーム豊田は、「開く つなげる とともに」をキーワードにして、一人ひとりの子どもが人、もの、ことと豊かにかかわり、じっくりと考えながら学び、安心と学ぶ喜びを感じられる学校づくりを目指します。 ・子ども同士がかかわり合いながら、学習の楽しさや自他の成長を実感できる授業づくりを推進し、学力の向上を図ります。 ・すべての子どもが安心して過ごせるような、温かく深い児童理解・児童指導を実践します。 ・学校(幼・保・小・中)・家庭・地域との連携を深め、地域の教育力を生かした学校づくりをし、まちを愛する子どもにします。 ・全教職員が個々の力量を発揮しチーム力を高め、より主体的に学校運営できるよう学校運営組織の確立を推進します。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
<b>知</b> 生きてはたらく知 担当 授業・評価	基礎的学習内容の定着・活用を目指す。学校教育目標に基づき、各学年で重点的に取り組む内容を明確にし、カリキュラムマネジメントを進め、年間活動計画を定める。朝学習・一部教科担任制・家庭学習など、それぞれが基礎的学習内容の定着・活用に効果的に働くよう運用していく。メンター研修や重点研究会の場を大切に授業力の向上をはかる。
<b>徳</b> 豊かなかかわり 担当 心と安全	各教科、領域、特に重点研究で取り組む「豊田っ子タイム」、たてわり活動など全教育活動において、豊かにかかわり、互いに助け合い、支え合い、高め合う、協働の心情や態度を育てる。豊かなかかわりの中で「主体的な学び」「問題解決する力」を重点項目として取り組む。
<b>体</b> 健やかな体 担当 心と安全	コロナ禍で低下した体力の回復を目指し、運動する喜びや楽しさを味わえるような保健・体育の授業や学級単位の「縄跳び」の取り組みを通して体力向上を図る。「とよだ元気会議」(学校保健委員会)のテーマに全児童が積極的に取り組み、心と体の健康についての理解を深め、実践していけるような支援を行う。
<b>公開</b> 自分づくり教育 担当 授業・評価	「豊田っ子タイム」の探究的学習を通して社会や自然と関わり、自分の解決したい課題を明確にしていく。ICT活用を進めることで離れた場所や人との関わりを深める。「自分づくりパスポート」で自分についてじっくり考え、なりたい自分を描いていく。
<b>いじめへの対応</b> 担当 いじめ防止対策委員会	月1回定期的にいじめ防止対策会議を全職員で実施し、気になる児童や認知された案件の経過確認を丁寧に行うことで、未然防止や早期発見、再発防止に努める。普段の会話や振り返りカード、児童アンケート、YPアセスメントにより些細な変化を見逃さない体制づくりを継続する。
<b>人材育成・組織運営(働き方)</b> 担当 主幹会	メンターチームを組織し、ミドルリーダーが講師となって月1回の活動を継続して行う。ミドルリーダーが学校運営していく場を設定し、行事その他の提案を進めていく。教職員の業務の中で裁量ある時間を創出するために、教育課程を弾力的に見直す。
<b>支援教育</b> 担当 特別支援教育コーディネーター	誰一人取り残さないという考えのもとに、個に応じた細やかな支援を全児童に行っていく。児童一人ひとりが自信をもって自己表現でき、また、他者の気持ちも受容できるよう、自己理解、他己理解の両面について図れるようにする。SCやSSW、関係機関と連携をしながら、適切な支援を行っていく。
<b>地域連携</b> 担当 主幹会	新学習指導要領に沿った教育を充実させるために、TSC(豊田小学校支援本部)を核とした学校支援隊など、地域の教育力を生かした教育の再構築に努める。学校運営協議会を立ち上げ、地域と学校の連携を図る。学校教育目標達成に向けた取組を地域や保護者と共有するために、学校ホームページの定期的な更新に努める。
<b>a14</b> 担当	a24
<b>a15</b> 担当	a25